

平成28年7月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成28年7月26日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時02分	
	閉会	14時52分	
3 出席委員	委員長	東 條 光 彦	
	委員	奥 津 晋	
	委員	塩 田 澄 子	
	委員	藤 原 佳 代 子	
	委員(教育長)	山 脇 健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安 田 充 年	教育次長	天 野 和 弘
統括審議監(企画調整担当)	小 西 洋 史	審議監(学校教育担当)	三 宅 泰 司
審議監(生涯学習担当)	後 河 正 浩	教育企画総務課長	赤 野 政 治
指導課長	岡 林 敏 隆	指導課教育支援担当課長	松 浦 敏 之
生涯学習課長	近 藤 康 彦	生涯学習課課長代理	安 東 信 哉
文化財課長	乗 岡 実	地域子育て支援課課長補佐	田 中 光 彦
事務局(教育企画総務課主査)	生 田 裕 宣	事務局(教育企画総務課副主査)	中 村 陽 子
5 議題及び結果			
報告第22号	専決処理の報告(リース公用車の事故に係る和解及び損害賠償の額を承認することへの同意について)		承認
第14号議案	平成29年度に特別支援学級で使用する教科用図書等の採択について		原案可決
6 教育長等の報告 [平成28年6月4日(土)～平成28年7月15日(金)]			
6/10	新成人の集い第1回実行委員会	地域子育て支援課	
6/13	岡山市学校ボランティア連絡協議会	生涯学習課	
6/26	市民協働推進モデル事業・中学生だっぴ	指導課	
		生涯学習課	
6/28	いきいき学校園づくり	指導課	

6/29	いきいき学校園づくり	指導課
6/30	いきいき学校園づくり	指導課
7/ 5	いきいき学校園づくり	指導課
7/ 6	いきいき学校園づくり	指導課
7/ 7	いきいき学校園づくり	指導課
7/ 7	幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校 PTA 指導者 生涯学習課 研修	生涯学習課
7/ 8	いきいき学校園づくり	指導課
奥津委員 指導課教育支援担当課長	○ 市民協働推進モデル事業・中学生だっぴについて説明願う。 ○ 「NPO法人だっぴ」（脱皮するという意味）という団体があり、大学生と社会人が同じテーマでグループに分かれて話し合い、将来に向けての価値観や職業感を養いながら前向きな変容を求めていく活動をされている。その団体と昨年度から市民協働推進モデル事業を協働で行っている。岡山市では、中学2年生から職場体験に行っているの、その前段階の活動として良いのではということで中学生を対象に行っている。足守中学校では剣道場で6月26日の日曜日、中学生43名に対して地域の方を含めた大人59名の計102名で行った。足守中の場合7名1グループで、生徒3名に対して大人4名でグループ毎にテーマを決めて40～50分の話し合いを2セット行うというものであった。テーマとしては「ほっとする時、自分らしく居られる時はどんな時か」「あなたが考える勉強する意味とは」等。事前アンケートと事後アンケートを取り、効果を比較しているが、全般的に前向きな考えに変わっており、非常に効果的活動と感じている。	
委員長 指導課教育支援担当課長	○ 中学生まで対象を広げて行っているのは、岡山市独自の活動か。 ○ この団体が岡山市を中心に活動しているが、今のところ岡山市独自の活動となっている。	
奥津委員 指導課教育支援担当課長	○ 今回参加者の大人の内訳はどうか。 ○ 地域の方12名、ほか47名は大学生ボランティアがほとんどである。	
委員長 指導課教育支援担当課長	○ この事業は報道発表されているのか。 ○ 報道発表はしているし、この団体は福武教育文化振興財団の表彰も今年度受けている。岡山市としては今年度6月26日足守中、7月13日瀬戸中、1月14日に岡山中央中、2月25日に吉備中以上4校でこの事業を実施する予定である。	
藤原委員 指導課教育支援担当課長	○ 昨年度山陽新聞の滴一滴に載っていたのは、この事業で岡山中央中だったのか。1校が何度でもこの事業を受けることができるのか。 ○ 今のところそのようにしている。	
藤原委員 指導課教育支援担当課長	○ 良い試みなので、広げて行きたいと思うが、生涯学習課と指導課が一緒に行うということは、地域を巻き込む事業だからか。 ○ 大学生ボランティアという部分が大きいので、ボランティアを募るところを生涯学習課に協力してもらっている。	
藤原委員 指導課教育支援担当課長	○ 何か予算措置はあるのか。 ○ 市民協働推進モデル事業としてNPOに委託費を委託して行っている事業である。	
藤原委員 指導課教育支援担当課長	○ 平日に行っているのか。 ○ 足守中は日曜だったが、瀬戸中は水曜、岡山中央中と吉備中は土曜日。	
藤原委員 指導課教育支援担当課長	○ 直接学校が使える予算部分はあるのか。 ○ 学校に予算は出していない。学校にしてもらえないので。	
藤原委員	○ とても良い試みだと思うが、事業者が入るともっと大きい活動になり、効果も大きくなって良いのではないかと思う。是非拡充してもらえたらと思う。	
塩田委員	○ 参加する学校比はどうなっているのか。	

指導課教育支援担当課長	○中学生だっぴという企画があるということを知らせて、手を挙げた学校で実施となっている。
藤原委員	○新成人の集いについてだが、第1回目の実行委員会は開催されたようだが、この実行委員に応募してくる二十歳の方は多いのか。少なくとも市側で探さないといけない状況か。
地域子育て支援課課長補佐	○今回は中学校の校長先生に推薦してもらった子が1名いるが、後は自主的に応募してきている。
藤原委員	○毎年苦労しなくても集まってきているのだな。
地域子育て支援課課長補佐	○本当のところは、20名ほしいなと思っているが、現在15名である。
藤原委員	○男女比的にはどうか。
地域子育て支援課課長補佐	○昨年度は男性の方が多かったが、今年度は半々になっている。大学生が13名で、1名が自営業者で、その他1名という状態である。
藤原委員	○徐々に自分たちの成人式として、企画もできているのだと思うが、大きなイベントなので期待しているし、頑張って欲しいと思う。
塩田委員	○去年の実行委員メンバーはどのように関わっているのか。
地域子育て支援課課長補佐	○アドバイザーという形で、第1回実行委員会開催前の事前説明会の時に、前回・前々回の実行委員メンバーの大半が集まって説明してくれたり、本番が近づくにつれ支援もしてくれている。
塩田委員	○是非つながりを保ってほしいと思う。異なる時期の人が応募してもよいのでは。
委員長	○前回は本番直前にお父さんが倒れた方がいたように思うが。
地域子育て支援課課長補佐	○昨年度、準備をしている時に父親が倒れ、結局命を落とされたが、お父さんも新成人の集いで頑張る姿を楽しみにしていたということで、気丈に司会を務めた子がいた。今年度の事前説明会の時にも来ていた。いい表情をしており、大きな自信に繋がっていると思う。将来は保育士になると言って頑張っている。
奥津委員	○日程はいつになっているのか。決まっているのか。
地域子育て支援課課長補佐	○少し早い、平成29年1月8日となっている。
奥津委員	○お正月に近ければ、里帰りの若者が参加しやすい気がするが。
地域子育て支援課課長補佐	○おっしゃるとおりで、本来の成人の日は9日月曜だが、岡山市は、土曜日曜月曜と連休となる真ん中の日曜に設定している。来年度は平成30年1月7日月曜で、ここも連休の真ん中の日曜の予定で進めているところだ。
藤原委員	○岡山市学校支援ボランティア連絡協議会の在り方が変わっているのでは。大学間をつなぐような。今の状況を聞かせてほしい。
生涯学習課長	○6月13日は学校支援ボランティア全体の、事業を進めるにあたって意見交換や情報共有のための協議会を立上げさせてもらった。今後は、この協議会に報告をしながら、ご意見もいただきながら事業を進めていくことになろうかと思う。この中で新しい事業を9月に始める予定だが、モデル校を定めて始めるという説明をさせていただいたが、7名程の学生が来ていたので、この事業の進め方等に対するご意見やご提案をいただいたところである。
藤原委員	○モデル校とは具体的に何校なのか。
生涯学習課長	○小学校を2校、中学校を1校をモデル校として選択し、そこに入ってもらう学生ボランティアを探しているところである。9月にはスタートしたいが、次回定例会では各モデル校の人数等も含めて説明させていただく予定にしている。
藤原委員	○昨年モデル校とは異なる学校か。
生涯学習課長	○モデル校というのは今回初めてである。今まではボランティアが入れるところであればやっていた。極端に言えばどこの学校でもできたが、今回はグループ化をする学校で、新しい取組をする学校を3つ程決めさせてもらって、成果等を検証していこうということである。 今までの支援ボランティアは従前通りやって行く。

教育長 生涯学習課課長代理	○岡大がやっているものではないのか。
藤原委員	○岡大がやっているコンピュータシステムを使ったネットワーク化とは違う。学生グループを作り、そのグループによって支援をしていくという事業。
生涯学習課長 委員長	○いろいろな大学が集まっていると思うが、どこか中心的な大学があるのか。みな同様の扱いで活動しているのか。
生涯学習課長	○1大学のみ不参加であるが、市内の大学・専門学校に協力してもらっている。
	○連絡協議会は年2回くらい行っているのか。
	○今回初めて上げたが、年2回くらいを予定している。年度途中の進捗状況等を次回この場で報告させていただき、その後の進め方等、意見交換をするようなことになると思う。

7 議事の概要

委員長	○それでは、ただいまから7月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日は傍聴希望者はおられないようなので、このまま進行したいと思う。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。
全委員	○(承認)
委員長	○日程第2、6月定例会の議事録に問題ないか。
全委員	○(承認)
委員長	○日程第3、教育長等の報告、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
委員長	○日程第4、報告第22号を文化財課から報告をお願いします。
文化財課長	○本件は、リース公用車で、白いワンボックスの軽自動車の交通事故に関する和解について、去る6月14日に専決処分を行ったので、その旨を報告するものである。 事故が実際に起こったのは、ほぼ1年前、平成27年7月31日午前10時50分頃である。場所は、東区瀬戸町宿奥220番地先、旧瀬戸町の市街地から東岡山駅の北側というか、裏側へ抜ける県道の場所である。IPU環太平洋大学の近くである。文化財課所属の職員が、瀬戸方面から東岡山に向かって埋蔵文化財センター配置の公用車を運転中、前方を走っていた一般の四輪自動車の急ブレーキを受けて連動してブレーキをかけて停止したところ、背後から原動機付自転車が追突してきたという事故である。市の職員、また相手方等に人身にかかわる損傷はなかった。公用車の方は、車体の背後のへこみや塗装の剥がれ、相手方の原動機付自転車も損傷する物損事故となった。 事故の最大の原因は、背後から走ってきたということであるので、相手方の車間距離不足が一番大きな事故原因ということになる。なお、公用車の前を走っていた四輪の自動車が急ブレーキをかけた理由というのは、さらに前方を走っていた原動機付自転車がスリップしてこけたことである。だから、実際には、先頭を走っている原動機付自転車、そして役所の公用車、背後を走っていた原動機付自転車が関係しているが、現実には物理的な接触があったのは公用車と背後から走っていた原動機付自転車という、事故処理としては2台の間のことになる。 いずれにしても、公用車の修理に要する経費25万円ということになる。損害賠償として、通例、後ろから当たってきた方がということになるのであるが、この全額25万円を原付運転者相手方に求めることについて、不服申立てがあり、事故処理を円滑に進めるために損害賠償請求権を全国市有物件災害共済会に委ねて交渉を行ってまいったが、このたび和解に至ったものである。 和解の内容は、公用車の修理費25万円のうち、90%の22万5千円を相手方の負担とし、残りの2万5千円は共済会の共済金より充当するというものである。先方も、対物賠償保険をかけていたので、実際には岡山市側も、先方も新

<p>委員長 文化財課長 委員長 文化財課長</p>	<p>たな費用の発生はしていないが、いわゆる9対1ということで和解が成立したということになる。ただし、相手方の原付自転車も壊れているが、これについては損害賠償を市の方に求めないということで、納得をされたということである。以上、簡単ではあるが、報告を終わらせていただく。</p> <p>○この事故はちょうどほぼ1年前にあった事故であるか。</p> <p>○はい。</p> <p>○1年かかったということは、その交渉に時間がかかったという理解でよいか。</p> <p>○はい。一般的に公用車の事故では長引くことが多いが、本件の場合は、通例だと10対ゼロという形であるが、どうしても相手方がうちだけが悪いのではないということで、強硬にねばられて、不服を申立てられたので、いろいろ思いがあったということで長くかかったということである。相手が当たってきたので10対ゼロで終わりというのが一般的な解釈であるが、市側としても、前方を走っていた車との車間距離をもっと空けていればとか、背後の原付に早く気づいて先に行かせるとか、そういうということも想定できたということで、やむを得ない落としどころである。</p>
<p>委員長</p>	<p>○いろいろあろうかと思うが、こういう処理になったというところで報告いただいたが、ご質問はないか。</p>
<p>全委員 委員長</p>	<p>報告第22号を承認してよろしいか。</p> <p>○(承認)</p> <p>○では報告第22号は承認とする。</p>
<p>指導課長</p>	<p>続いて、日程第5、第14号議案の説明を指導課から願います。</p> <p>○見本をご用意しているので、こちらへ移動していただきたい。</p> <p>それでは、岡山市立小学校、中学校及び岡山後楽館中学校並びに小・中学校の特別支援学級における平成29年度使用の教科用図書の採択をお願いするものである。</p> <p>まず採択いただく前に、今年度行った、教科書展示会についてご報告する。展示期間は6月17日から7月2日、会場を岡山教科書センター、岡山市の教育センターの中に併設している、そこと、それから御津図書館の中に御津分館ということで、合計2ヶ所で展示会を開催した。今回も例年どおりアンケートもお願いしたが、数名の来館者はあったものの、特にご意見はいただいていない。では、早速小学校の方をお願いしたいと思う。</p> <p>小学校については、平成26年度に採択替えをしていただいております、その後4年間は特別な事情がない限り同じものを採択していただくということになっているので、1ページから4ページのところに案としてお示ししているが、これらの全ての採択をお願いする。</p> <p>お手元に配置したのは、後ほどご審査いただく特別支援学級用の一般図書になる。</p>
<p>委員長</p>	<p>○それではまず、小学校教科用図書の方をご覧いただき、ご意見があればお伺いしたい。</p>
<p>指導課長 藤原委員 指導課長 藤原委員 委員長</p>	<p>これは、先生方から特段何かご意見は出ているのか。</p> <p>○特にはない。</p> <p>○急に何か変化が必要なことは起きていないか。</p> <p>○起きていない。</p> <p>○いろいろ教科書問題があったが、関係ないか。</p> <p>○それから、今の説明では、展示会で市民の方からのご意見は特になかったということであるので、案のとおり採択でよろしいか。</p>
<p>全委員 指導課長</p>	<p>○(承認)</p> <p>○続いて、中学校及び岡山後楽館中学校で使用する教科用図書について願います</p>

<p>委員長 指導課長</p> <p>委員長</p> <p>全委員 委員長 全委員 指導課長</p>	<p>る。</p> <p>こちらの方は、平成27年度、昨年度採択替えを行い、小学校と同様4年間同じものをお願いしたいところである。中高一貫教育校である後楽館中学校については、ほかの中学校とは別の採択というのも可能であるが、岡山市立の中学校ということで他の中学校と同じ教科用図書ということでお願いをしている。現在使用している教科用図書については、5ページから7ページに案としてお示しをしているので、よろしく願います。以上である。</p> <p>○これも、現場の先生から何か特段の意見はあるのか。</p> <p>○国語は、長年使っていた出版社から変わったので、気にはしていたが、特にこれといった意見はいただいていない。</p> <p>○現場の先生からの意見はなかったということであるが、皆さん、ご意見はあるか。</p> <p>○（なし）</p> <p>○特段ご意見がないようなので、案のとおり採択するということによろしいか。</p> <p>○（承認）</p> <p>○それでは、最後に小学校、中学校の特別支援学級で使用する教科用図書についてお願いをする。</p> <p>こちらの方は、子どもたちの実態がさまざまであるので、毎年度採択となり、特に一般図書については毎年度採択ということをお願いしているものである。</p> <p>知的な課題を持った子どもたちは、例えば下学年使用、中学生が小学生の教科書を使うということや、文部科学省が作った著作本、それから今、お手元に数点サンプルを配置しているが、一般図書、こういったものを教科書として使用することが可能となっている。自閉情緒学級の子どもたちは、大半、通常の学年の教科書を使用するが、小学校で申し上げると、約1割弱の子どもたちがこういった一般図書を使用している。中学校では、あまり例はない。</p> <p>今回採択していただきたい一般図書については、各学校で子どもたちの実態、それから保護者の意見等を踏まえながら、選定委員会を組織していただき、平成29年度使用特別支援学級教科用図書選定資料として、もちろん私どもともやりとりした上でまとめている。お手元の選定資料もご確認いただきながら、教科書を見ていただけたらと思う。</p> <p>それでは、3点ほど特徴的なものをご紹介させていただこうと思う。まず、選定資料3ページの6番「ことばえほん」というのがあるが、現物は今、塩田委員がお持ちの一般図書になる。これは、主に小学校の低学年から中学生の子どもが使う国語で使用する一般図書である。お手元にとって開いてご覧いただけたらと思うが、日常的に使う動詞を中心とした言葉が、親しみやすい挿絵を用いて紹介されている。平仮名に興味を持った子どもたちが自然と学習を進めたくくなるような、そんな内容の図書になっているので、教師が児童と一緒に動きながら、意識した言葉を増やすというような効果が期待される一般図書になる。</p> <p>それから、今、塩田委員のところにあるが、「しごとば」というもので、これは、今年度、新たに採択をお願いしようとするもので、小学校の主に高学年の社会科で使おうとしている一般図書になる。選定資料で申し上げると、13ページの7番。これはキャリア教育の一環にも使えるということと、主に社会科で使うわけだが、いろんな職業、子どもたちが興味を持つような、例えば新幹線の運転手とか、すし職人とか、そういった職業について職場の様子や使う道具、それからその内容をイラストを交えながらわかりやすく示しているということで、効果も期待できるものということである。</p> <p>それから、もう一点ご紹介するが、中学校である。あまり例はないが、中学校の国語で使う「くらしに役立つ国語」というもの。これは、日常の生活場面で活用</p>
--	--

	<p>できるような内容、例えば電話のかけ方の解説であるとか、手紙の書き方、辞書の使い方、あるいは百人一首の取り方みたいなどを示しており、現物、実は今、私の机の上であり、取りに行ってもらっている。そういった内容で、非常に実用的な内容、それから特別支援学級の高等部へつながるような内容ということで、使用の採択をお願いしたい。</p>
委員長	<p>一般図書で104冊、それから文部科学省著作本13冊、合計117冊全てをお願いできたらと思っている。主なものをお持ちしているのと、委員長さんの後ろのコンテナの中へも全てご用意しているので、よろしければ手にとってご検討いただけたらと思う。以上である。</p>
指導課長 教育長	<p>○これらのうちで、今年度新たにというのは、先ほど紹介のあったもの以外で、資料の中でなにかわかるようになっているのか。</p>
	<p>○資料の中にそれは明記していない。</p>
指導課長 教育長	<p>○これはもうそれぞれ学校で選択しているわけだが、次の高校も含めて、こういう出版社からそれぞれの学校に、何らかのものがあったということは一切なかったか。</p>
指導課長 教育長 指導課長 委員長	<p>○一切ない。 ○働きかけ等はないと。 ○働きかけ等はない。</p>
	<p>○一般図書については、働きかけようがないというか、どれが候補になるかわからなくて、子どもの実態に合わせて選定しているというようなことか。</p>
指導課長 教育長	<p>○そうである。</p>
指導課長 藤原委員	<p>○これとかは、東洋館出版だから、教科書は作ってないかな。 ○東洋館出版ではなかったと思う。</p>
	<p>○資料の星(☆)本などは、もう会社は関係ない。文部科学省がやってるから入りようがないな。</p>
指導課長 藤原委員	<p>○資料の星(☆)本などは、文部科学省の著作本であるので、はい。 ○どこかの出版社は入ってるけど、印刷関係もあつたり。不正の起きようはないか。</p>
全委員	<p>○(各サンプル本を手にとって審査)</p>
藤原委員 指導課長	<p>○内容が濃い。 ○その辺りは、教員の方で解説を加えなくてはならない。</p>
委員長 藤原委員	<p>○つくりが丁寧だ。 ○ビジュアル的にもよい。</p>
教育長 教育長	<p>○こういう教科書の方がよっぽど、普通の教科書より工夫してある。 ○特別支援学級だけではなく、普通の一般学級でも段階に応じてとか、何かで使えばよい。</p>
藤原委員 指導課長	<p>○無償ではくれないだろう。 ○無償では無理である。</p>
教育長 藤原委員	<p>○いくらか買って置けばよい。特別支援学級から借りてくるとか。</p>
藤原委員 藤原委員	<p>○総合学習みたいな感じでも使えそうだ。 ○これは数学でもなんでもできる。</p>
教育長 指導課長	<p>○これは図書館には置いてないのか。 ○置いてあるかもしれない。一般図書で、普通に読みやすいので。一般図書であるから、市販もされている。</p>
委員長	<p>○では、ご覧いただけただけであろうか。</p>
	<p>候補になっているものについて、何かご意見はあるか。</p>
教育長	<p>○排除するとか、これはだめだというものはない。子どもたちにわかりやすくいろいろ絵を使ったりしている。</p>

<p>委員長</p> <p>全委員 委員長 指導課長</p> <p>委員長</p>	<p>○実際にかかわっておられる先生方が選んだということであるから、一番適しているものだろうと思う。それから、昨今話題になっているような問題が起こりようがないような構造のところ選ばれているものである、そういった点での懸念はないと思う。</p> <p>それでは、第14号議案を原案のとおり可決してよろしいか。</p> <p>○（承認）</p> <p>○第14号議案は原案どおり可決する。事務局から何かあればお願いする。</p> <p>○本日採択していただいたものについては、今後は県の教育委員会へ報告する。なお、本日使用した採択に係る資料、それから採択された教科書、採択理由等については、教科書の採択に関する信頼を確保する観点から、8月31日までは公表を控えていただき、採択終了以降にホームページでの公表ということで進めたいと思う。</p> <p>○それでは、以上をもって本日予定していた議案の審議は終了したので、平成28年7月教育委員会定例会を閉会とする。</p>
---	--

傍聴の状況		
報 一	道 般	1名 0名